

「市民の声を市政に」をテーマに、5月17日から市政懇談会を実施しました。

今回は2カ町を1地区とし、4地区で4日間開催。延べ189人の参加があり、市政への提言、意見や要望などの懇談を行いました。内容については、市民の関心が高い質問を抜粋してお知らせします。



### 職員の不祥事

問 2年前の市政懇談会で市長から市民目線の職員を養成すると強い決意を聞きました。しかし、その後3件の懲戒解雇が起きています。次に重大事件が発生した場合は納税者の立場からして、重大な処罰、市役所全職員が一律給与カットを表明してもらいたい。自覚がない職員は

存在してほしくありません。答 市の職員の不祥事は情けなく、大変申し訳ありませんでした。職員の給与の一律カットについては、住民の皆さんが思われる気持ちはそのとおりだと思います。法の範囲内で最大限の処分をまいります。また処分の見直しについても検討しなければいけません。とにかく、処分する前に絶対起こさないと肝に銘じ行動します。今後とも指導お叱りをお願いします。

### 安心安全な生活

問 東日本大震災の支援で宮城県南三陸町に義援金、職員派遣や市議会の研修で現地を視察されていますが、期待した住民への安全のフィードバックが残念ながらありません。市民が安心して生活できる施策として何が

4月から小学生4年生以下の児童が3人以上いる多子世帯を対象に第3子以降の保育料を無料にしています。花嫁対策は、農業委員会で取り組んでいます。農業委員会だと農家のみになりますので、異業種を対象にした取り組みを検討します。

### 高規格道路整備

問 南島原市から愛野まで高規格道路を整備し、通勤圏内になれば大村や諫早などにも通え、地元に残りたい人も多くなると思っています。高規格道路の整備なくして、市の発展はありえないと思えます。

答 道路の問題は、1市16町時代からお願ひしています。高規格道路以上になれば、国、県レベルでするようになります。それぞれ期成会をつくり、島原道路や愛野小浜バイパスなどの路線の拡幅等をお願いしています。実現していかないのが現状です。島原道路については、ようやく目に見えてきましたが、深江から市内は候補路線となっていては、国・県の財政状況が厳しくなり、大型道路については見通しがつかない状況で

できるか市役所・市議会は真剣に考えてほしい。

問 今回の震災の教訓として、今後の災害等についての対応に万全を尽くしていかねればなりません。津波が起きた場合、果たして自分の場所は標高何mの場所にあるのかを認識して頂くため、標高の表示などの対策が必要ですが、各自治会長に図面を配布した程度で進んでいません。現在、九州電力の電柱に表示をしていく計画でいます。また、避難場所等の問題も含め、防災計画の見直しを行っております。災害派遣については、派遣職員が勉強してくる目的もあります。

### 雇用対策

問 企業誘致に並行して市内事業所にも力を入れてほしい。市内の事業所で雇い入れをしたくても仕事が無い、仕事が少なくため、若い人は他市に流れ、悪循環になっています。地元事業所が元気になり1人を採用し、10事業所で10人採用をした場合も、企業誘致に匹敵します。その方が市は元気になると思いますが、企業誘致については、今後

す。せめて、市内の道路だけではとの考えで、今年度は34路線の継続事業に加え、新たに18路線の道路整備に着手しています。

### 東北のがれき処理の問題

問 東北のがれき処理の問題で、本市の取り組みを教えてください。

答 雲仙普賢岳噴火時に全国から多くの支援を受けました。ご恩返しということで支援をしなければなりません。しかし、がれきの安全性の確保がないと市民の皆さんは納得されません。南島原市の場合、南有馬クリーンセンターは2トンの余裕しかありませんので、物理的、計算的にも無理だろうと考えており、難しい状況です。また、諫早の県央南環境組合(深江、布津)は4市でやっておりませんが、安全性を担保確保しないと駄目だとなつています。今後、詰めて協議してまいります。

### 堂崎埋立て

問 ここ半年くらい、堂崎海岸の埋め立てが進んでいる状況です。進捗状況を教えてください。

も推進していかなければなりません。しかし、南島原市は奥まった位置にあるので、そう簡単に企業は来てくれません。

市内で発注できるものは「市内」を基本に置いており、地場産業に力を入れるようにしています。今後は、合併した市町にだけに与えられた支援策の合併特例債を有効に活用します。残りの期間で、どう活用していくかいろいろ検討しています。市民の皆さんが主役だという思いの中で、市の基礎づくりをしていきます。

### 地域活性化の取組み

問 市の活性化のため、どのような取り組みをしているのか教えてください。

答 農産物、水産物、歴史、そのゆめやたくさん素晴らしい資産があるのを日本中、長崎県の人もご存じでない状況です。広報のあり方、メディアとどうやって繋がっていくのかと、情報の発信に一番気を使ってやっています。特に、口之津開港450年が一つのバネになりNHK、新聞各社、テレビ民放各社に興味を持ってもらっています。BSジャパンで「がせみそ」とい

問 堂崎海岸の埋め立てについては、雲仙普賢岳噴火の土石流の捨て土対策としてスタートしました。私が就任後に、県・復興事務所に進捗状況を尋ねたら、「土石流対策の事業であるので早めることはできません」と回答がありました。雲仙普賢岳には1億mの大きなドームがあり、地震等があったら流れるのではと心配しています。堂崎海岸は土石流対策として、対応することになっています。

### 小学校の統廃合

問 小学校の統廃合の進捗状況と、その後の跡地の利用についてどうお考えですか。

答 昨年度の終わりに、今までの分をまとめ、小学校の統廃合



「ぎりす」を「田舎のちろろ」という番組で、2週連続で放送されました。少しずつですが、南島原市に注目をしていたいただいています。一番目標にしているのは世界遺産登録です。市が一体になって市民の皆さんと進めていく事業です。情報力がないと忘れられてしまいますので、今、一生懸命情報を出しています。

### 鳥鉄跡地問題

問 鳥鉄跡地の進捗状況を教えてください。

答 鳥鉄跡地については当然鳥鉄の所有地です。跡地の利活用については、検討委員会で検討され案が出されています。そこで高規格道路の案が出ました。現状を見ると、鳥鉄跡地の幅は約5~6mしかなく、全く無理な話です。鳥鉄の財産ですが、市を一本でつながった路線なので、市も鳥鉄と一緒に早い時期に検討していかなければならなりません。

### 原城温泉真砂の増築

問 真砂の経営状況を教えてください。

問 真砂の経営状況を教えてください。建物の増築の考えはな

そのほかにも、さまざまな意見や提案がありました。

- 道路整備
- 農用地の見直し
- 保育所入所
- 給食費無料化
- 防災行政無線
- 農援隊の継続
- 公共交通対策
- 有馬商業跡地
- 観光振興
- 自然エネルギー
- 障害者の支援
- 生活保護制度
- 飲料水の安全
- 通学路の交通事故対策

詳細は、市のホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

南島原市 市政懇談会